

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～なかよく 明るく つよく正しく～

学年担任制の効果

今年度より3年生以上で学年担任制を実施していますが、その効果が11月末に実施したQ-Uの客観的な数値からも見えてきたのでお伝えします。

	3年		4年		5年		6年	
Q-U結果	R 6	R 7	R 6	R 7	R 6	R 7	R 6	R 7
学級生活満足群		78.0	76.0	78.3	81.5	85.5	70	88

学級生活満足群の全国平均は43ポイントですが、3年生から6年生のすべての学年で全国平均を大きく上回っています。また、昨年の3・4・5年生時の結果と比較しても、4・5・6年生とも学級生活満足群が上昇しています。

	4年		5年		6年	
Q-U結果	R 6	R 7	R 6	R 7	R 6	R 7
学級生活満足群の学級差	31	12	23	5	20	0

この表は、昨年度と今年度の学級間による学級生活満足群の数値の差を表したもので、現4年生は、3年生のときに学級間の学級生活満足群の数値に31ポイントも差がありましたが、今年度は12ポイントと差が少なくなりました。5年生と6年生は、学級間の差がほとんどなくなりました。

学年担任制を導入した大きな目的のひとつは、学級によって居心地の良さや学習集団としての高まりに大きな差が出ないようにすることです。そのことにつながるよい効果が出てきています。

学年担任制の課題も見えてきました。保護者の方から「電話等で相談をしたいときに誰に伝えればよいのか分からない。」といったご意見をいただきました。来年度からは、「3年1組の連絡担当は○○先生」といった各学級の担当を4月当初にお伝えします。



3年生～総合的な学習の時間～

3年生は、総合的な学習の時間に、久世で発見したよさについて学習を進めています。今回はゲストティーチャーとして、真庭市役所建設課・上下水道課の方に来ていただき、河川敷公園のことや、マンホールのふたに描かれているデザイン等について教えていただきました。

「河川敷に公園はいつからあるのですか」「久世のマンホールのふたにはどんな絵が描かれているのですか」など、子供たちの素朴な疑問に、一つ一つ丁寧に答えていただきました。学習で教えてもらったことは、子供たちがクイズなどにしてまとめ、21日の参観日に紹介する予定です。



跳び箱運動

本校では、めざす児童像の一つである「健やかな心と体をつくる子」を育むため、学期ごとに特に力を入れて取り組む運動領域を設定し、計画的に体育の授業を進めています。その一環として、事前に職員研修を行い、ねらいや指導のポイントを共有した上で、各学年の授業を実施しています。

3学期は「跳び箱」を重点領域とし、各学年でチャレンジさせたい技について共通理解を図りました。また、安全面に配慮しながら、場の工夫や活動の工夫を確認し、児童一人一人の実態や課題に応じた学習環境を整えています。授業では、段数を選べる跳び箱やウレタン跳び箱やセーフティーマットを活用するなど、児童が安心して挑戦できる場が用意され、意欲的に取り組む姿が見られます。



手洗いの徹底

感染性胃腸炎の流行により、1・2年生を学年閉鎖としました。感染性胃腸炎の予防には、石けんと流水による丁寧な手洗いが最も効果的であり、アルコール消毒は効果が期待できません。ご家庭でも、食事前やトイレの後など、こまめな手洗いを心がけてください。引き続き、体調管理と感染防止へのご理解とご協力をお願いいたします。

